

【学校教育目標】豊かな感性を持ち、主体的に学び、心身ともにたくましく生きる児童の育成



第五小だより

自分で・自分から、誰かのため・何かのため、それが未来のため

令和8年5月号

朝霞市立朝霞第五小学校

朝霞市泉水3-16-1

TEL048-462-0455

60年目、「未来づくり」へのリノベーション（※）

校長 田邊 雅也

新生活の4月

新たな環境で生活を始めることは、とても緊張する時間が続きます。入学、進級、新しい学級、新しい先生、新しい友達、子供たちにとって、未知の世界の中で4月を過ごしました。大人であっても、職場の環境が変わり、新しい生活になることは、大きなエネルギーが必要になります。同じ学校で2年目を迎えた私も、60年の節目を迎える4月は、相当のエネルギーが必要でした。この4月は、みんな頑張ってきたと思うので、どの子供も、保護者も、教職員も、そろそろ疲れが溜まった頃だと思えます。

離任式で思うこと

5月1日に離任式がありました。新しい学級、新しい友達、新しい先生との新生活の中で、子供たちの懐かしい大好きな先生が帰ってきます。五小の59年目までの五小の教育活動を支えてくださいました。「教育の大転換」と言われて久しいですが、教育改革に向け、さまざまな試行錯誤をしてくださいました。離任式では、毎年、嬉しさ、懐かしさ、安心感で涙が溢れ出る子も少なくありません。去った教職員と子供たちは、久しぶりの再会で、「お互い、がんばろう。」という前向きな気持ちになってくれたらうれしいです。

60周年記念の横断幕

4月、PTA役員さんが昨年度から打ち合わせしてきた航空写真の業者さんから、60周年の記念の横断幕をいただきました。4月28日のお話朝会で、その横断幕がPTA役員さんから子供たちに披露されました。横断幕には「けやき」の三文字があります。「け…元気な子、や…優しい子、き…究める子」です。探究的な学びを推進する「き…究める子」は、探究の「究」でもあり、今年は特に重点にしています。節目の60周年に、どのような探究的な学びが始まっていくのでしょうか。横断幕の紹介により、いよいよ「60周年 共にウマくいく大作戦」の本格的な始まりを感じました。

「未来づくり」のリノベーション

4月の学校だよりやYouTubeの動画で配信をした学校経営方針でもお伝えしていますが、目指す学校像は、「自分で・自分から、誰かのため・何かのため、それが未来のため」です。これらは、4月に開催された学校運営協議会（校長を含め委員8名）で承認をいただき、全面的に協力をしてくださいます。合わせて、この4月1日から始まった「第3期朝霞市教育振興基本計画」の理念は「豊かな心でともに未来をつくる 朝霞の教育」です。目指す学校像や教育振興計画（※）の理念の実現が、「未来づくり」に向けた教育のリノベーションのようです。

59年の積み重ねの上に60周年

去った教職員をはじめ、保護者・地域の皆様を含め、多くの方が59年もの間、積み重ねてきた上にある60周年です。探究的な学びの推進こそが「未来づくり」のリノベーションとし、60年をお祝いする一年になります。この4月・5月、教職員は、研修をしたり、地域を回ったり、地域の皆さんと打ち合わせをしたりして、探究的な学びの構想をしています。本格的な探究的な学びの始動は6月頃を見込んでいます。

4月は、子供も大人も忙しい日々を過ごしていましたが、各学級、各学年がリノベーションの準備をしています。今年は、探究的な学びの様子を、いろんな方法でお伝えできたらと思っています。保護者・地域の皆様、引き続き、ご支援、ご協力をお願いします。GWは、交通事故等にはくれぐれもお気をつけください。

※リノベーション

…既存の建物内に大規模な工事を行い、従来の建物を一新する作業で、現状よりも高い性能・価値にする作業のこと。

本号では、建物・建築関係の意味ではなく、60周年の節目にあたる教育改革推進の例として、リノベーションの言葉を使用。

※第3期朝霞市教育振興基本計画（R8年度4月からR12年度3月）

…5か年の朝霞市の教育振興を図る基本的な計画。基本理念は「豊かな心でともに未来をつくる 朝霞の教育」